

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（北新地区）

日 時	令和8年4月23日（木）午後7時00分～午後8時00分
会 場	北新小学校体育館
参 加 者	100名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・緑が丘スポーツ公園について</p> <p>北新地区の大切な公共施設である、緑が丘スポーツ公園に関して、今後の整備方針と具体的な計画を説明いただいた。市・県として誇れる公園となるよう、ウェルビーイングの視点からも、もう少し具体的な説明をお願いしたい。</p>
樋口市長	<p>緑が丘スポーツ公園は、単にスポーツの場としてだけでなく、「からだところの元気交流拠点」ウェルビーイングの創出をコンセプトに、「子どもから大人まで多くの皆様に愛され、安全で快適に利用できる公園」、「災害時にも活用できる公園」として、再整備を進めている。</p> <p>この再整備は、整備中以外の施設を極力利用できるよう整備エリアを分割して進めており、第1期再整備では、テニス場や野球場のメインスタンドの改修を行った。</p> <p>今年度から、5か年計画の第2期再整備として、陸上競技場の総合管理棟及び観覧スペース、野球場の内野グラウンド、バックスクリーン、スコアボード、防球ネットのほか、外野には観覧スペースを整備する。また、野球場の外周には、ジョギング・ウォーキング走路を整備するとともに、船出広場の遊具も更新する。公園内のベンチについては、地域のご意見ご要望を伺う中で、設置位置等について検討していく。</p> <p>このほか、第2期再整備の完了後には、水泳場や球技場などの整備も進めていく。</p>
質問	<p>・万寿森古墳の整備について</p> <p>万寿森古墳は、地域における大切な遺産であり歴史的見地からも保存されるべきものである。自治会では、環境整備として</p>

<p>教育部長</p>	<p>「草刈り・側溝清掃」や、北中学校及び学友会生と連携した「プランターによる花壇づくり」を行っているが、「土の崩落」や「鹿の害」に大変苦慮している。また、古墳に訪れる方へのガイドも必要と思われる。北新地区は文教地区であり、教育的・歴史的な観点からも、整備をお願いしたい。</p> <p>万寿森古墳は、平成28年度に県の文化財の指定を受けた、学術的にも貴重な本市が所有する古墳である。</p> <p>令和4年8月に万寿森古墳に係る要望をいただいたのち、県の担当課と保存等に向けた協議を行うとともに、市内文化財の保存・活用を目的とした「甲府市文化財保存活用地域計画」を令和5年1月に策定し、万寿森古墳をはじめとする古墳群を維持管理する中、地域学習等で活用する旨を位置づけ、散策会などを開催している。</p> <p>歴史的・文化的な資源としての保存については、地域の意向を伺う中で、古墳の保存整備に関する委員会や現状変更の許可権限を持つ県と協議し、対応を検討していきたい。</p> <p>古墳付近に出没する鹿については、猟友会と連携して近日中に罠を設置し捕獲を行っていくが、罠の設置にあたっては、地域に相談をさせていただく。</p>
<p>質問</p>	<p>・竜雲橋について</p> <p>当地区にある竜雲橋について、令和5年度に橋の点検を実施していただいていることは承知しているが、経年劣化が進行しており、安全面に不安を感じている。竜雲橋は生活道路として重要な役割を担っており、地域住民には欠かせない橋となっているので、点検結果や現状を踏まえる中で、補修・改修など早急な対応をお願いしたい。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>市道の橋梁については、5年に1度の法定点検が義務付けられており、竜雲橋は平成30年度及び令和5年度に専門技術者による点検を実施している。</p> <p>この点検結果から、橋梁の安全性は確保されているものの、塗装の剥離が進んでいることなどが確認されたことから、測量、設計に着手し、令和10年度に補修工事を実施する予定である。</p> <p>今後も、定期点検に基づく適切な対応を図るとともに、日常</p>

<p>質問</p> <p>まちづくり部長</p> <p>樋口市長 (まとめ)</p>	<p>的なパトロールを実施する中で、市民の皆様が安全安心にご利用いただけるよう市道の維持管理に取り組んでいく。</p> <p>・狭隘道路の対策について 消防団活動を行う中で、狭隘道路の対策をお願いしたい。地区で空き家が増えているが、空き家を潰しても道路に接続していないため、新しい家が建てられない状況である。狭い道路を広くすることで、防災の面では消防車が通れるほか、まちづくりの基盤となる道路が整備されて空き家が少なくなり、賑わいが戻るのではないかと考えている。</p> <p>昔からあるまちでは、狭隘道路や接道に関して、そのようなことがあると認識している。建て替え時の接道要件については建築基準法で規定されているが、道路に面していない家があることも市では認識しているところである。法的な面もあるため、個別に確認させていただいた上で、どのように有効な土地活用ができるか、有効なアドバイスができないか探していきたい。</p> <p>本日は貴重な時間を共有していただき、ありがとうございました。頂いた意見・要望はしっかり受け止め、各部局や市役所全体で共有していく。</p> <p>狭隘道路については、昔ながらの地域は同じ悩みを持っている。土地は個人の財産であり、なかなか整備が進まないが、その中で最適な方法を考え、空き家対策や火災のない安全なまちづくりに繋がるよう、まちづくり部や企画部、関係部署で連携しながら、地元の皆様と意見交換しながら進めていきたいと考えているので、よろしく願います。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>北新地区自治会連合会会長</p>	<p>今日は雨が降っていて出席者が少ないかと思ったが、これだけ多くの人に参加していただいたことに感謝する。</p> <p>当地区では北新小学校や北新団地を新築していただいたが、市全体では高齢化が進み、空き家が多くなっている。家は個人の財産だが、樹木が伸びて道路を塞ぐような状況もあるので、ぜひ長い目で見ながら対応を進めていただければありがたい。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>